

よみがえる文化財

美術品修復の現場から



高橋国際大教授
大原 秀之氏

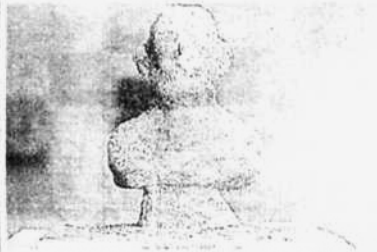
そして彼らの下に私を
含めた3人の研修生がい
たのですが、その後3年
間、次の研修生が入って
来なかったので、先輩た
ちのコピーを作るのは
ずっと私の役目でした。
朝8時から夕方5時まで
の勤務時間中、昼休みの
1時間は、3人の研修生
だけ美術館の図書室で美
術の本を読む時間を与え
て、私の役目でした。
美術館では研修生はそ
れぞれに本物の絵画作品
をあてがわれ、師匠や先
輩修復家によるマンツ
マンの指導で修復を行っ
て、たて立った絵画以外の研
修

虫が食べた「患者さん」

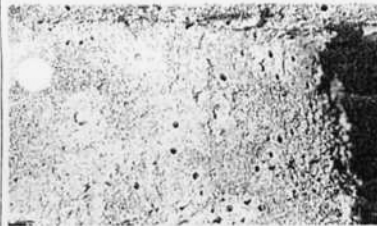
師匠D・アルトヘー
フ 先生はひよんな発想
で、絵師の研修生と
して学ぶことになった美
術館修復室は、師匠の他
には秘蔵の絵画修復家
が1人、ガラス工芸の修復
家1人、紙の修復家が
1人、家具の修復家が2
人、さらに陶磁器の修復
家1人がおりました。



D・アルトヘーファー先生(右から2人目)による研修生指導

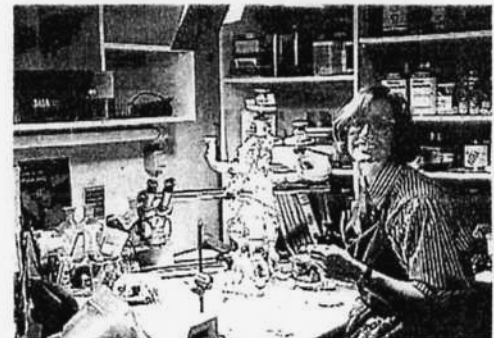


虫がすみこんだチョコレートの胸像



チョコレートの胸像の拡大写真。いたるところに虫穴ができています。

られ、さらに火曜日と水
曜日の午前中には美術館
から徒歩で10分ほどの所
にある国立美術大学(ウ
ス工芸・紙・表具・陶磁
器の修復家の下で短期間
ではありましたが一通り
の研修も受けました。こ
の研修がその後、どんな
に役に立ったのか。
大きな美術館ですか
ら、修復を必要とする作
品は収蔵庫にこころし
て入っています。第1次世
代からいられたクリスマ
スツリーのロウソクが、も
みの木に引火して火事に
なってしまったのです。
数年前の小さな火災が
おこりました。美
術館以外からも患者さん
は抱き込まれて来ます。
ある冬の晩、お金持ちの
コレクターの応接間に
中には何と印象派の巨匠
の作品が飾られていた。
その火事で針1本の松
葉が入院しました。その
時、ルノアールも真っ黒
く焼けてしまいました。



磁器の修復作業

ルノアールの作品も含ま
れていました。あのなん
とも書けないルノアール
と書けないルノアール
独特の車のタッチや色使
いなどまで消えてしまっ
て、ただただ真っ黒な灰
素のかたまりになってしま
いました。わずかに残っ
て残った酸化を免れた木
枠の一部が見えるだけで
した。いくら優秀な修復
家があっても、師匠はじ
ても、灰になってしまっ
た作品は元には戻りませ
ん。しかか、高熱によって
表面が変色してしまった
作品を酸い火がくぐれを
起こした10日に描かれ
た。この時の作
家の善悪は「虫が僕の作
った作品を食べていく。
いつかこの作品は食べつ
くれれば、無くなってしま
う」というものコンセプト
だ。というものでした。
作品の所蔵家と作家のパ
トルです。

◆チョコレートの胸像
デュッセルドルフは現
代美術の非常に盛んな町
(毎週土曜日に博覧会を
も開催)。
現代美術は難しい。で
も面白い。
た。この時の作
家の善悪は「虫が僕の作
った作品を食べていく。
いつかこの作品は食べつ
くれれば、無くなってしま
う」というものコンセプト
だ。というものでした。
作品の所蔵家と作家のパ
トルです。

きび (一も) ちが、
談話 眼のマス
コッタキ
ヤラクターになる見込み
です。前編
体の、前編
び、埼玉
団体の、コバ
トンも限
マ、コートになったのは
な、製薬会社の男がキャ
ツクターに転じたのむ
いたさうです。▲も、ち
の生みの親は、販市のチ
ザイナー、赤木二行さん
思うのですが。

【若狭幸治】